

## 志賀原子力発電所 2号機の耐震裕度向上工事の継続と新潟県中越沖地震を踏まえた 1、2号機の追加対策工事の実施について

平成19年10月23日  
北陸電力株式会社

当社は、志賀原子力発電所 1号機の臨界事故をはじめとする発電設備における不適切な取扱いがあったことを踏まえ、地元をはじめ関係する皆さま方の信頼回復を目指し、再発防止対策の着実な実施・定着に全社をあげて取り組んでいるところです。

今回の停止期間を利用して、11月1日より志賀原子力発電所 2号機の耐震裕度向上工事を実施するとともに、新潟県中越沖地震を踏まえた追加対策工事を実施することとしましたのでお知らせします。

2号機の耐震裕度向上工事については、平成18年9月19日に改訂された「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の趣旨を踏まえ、昨年11月27日から自主的に開始しており、当初予定した工事は本年9月末までに終了しました。

しかしながら、能登半島地震や中越沖地震が発生したことから、地元の皆さまにより一層安心していただくために、今回、昨年に引き続き、配管サポート類、電路サポート類などについて、裕度の向上を目指して工事を実施することとしました。

また、中越沖地震による東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所の被害状況に照らして、志賀原子力発電所の設備の状況確認を行い、現在、必要な対策工事を実施していますが、更なる消火対策充実の観点から消火対象物へのアクセス道路の地盤改良等についても追加実施することにしました。

### < 添付資料 >

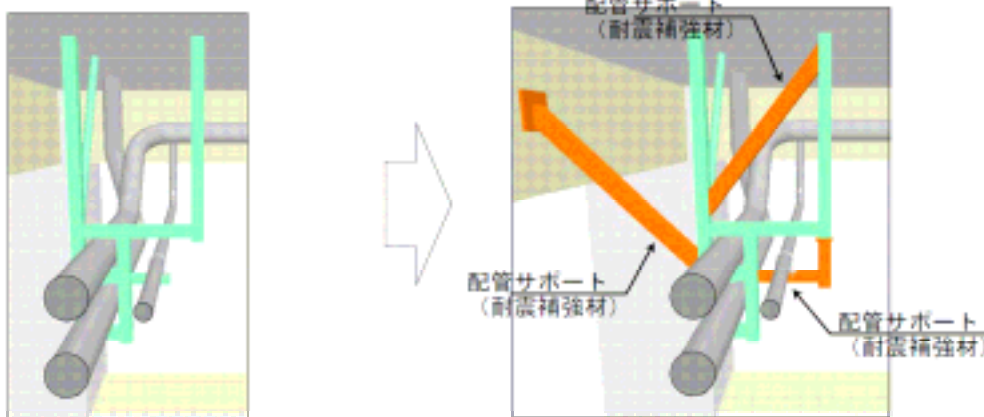
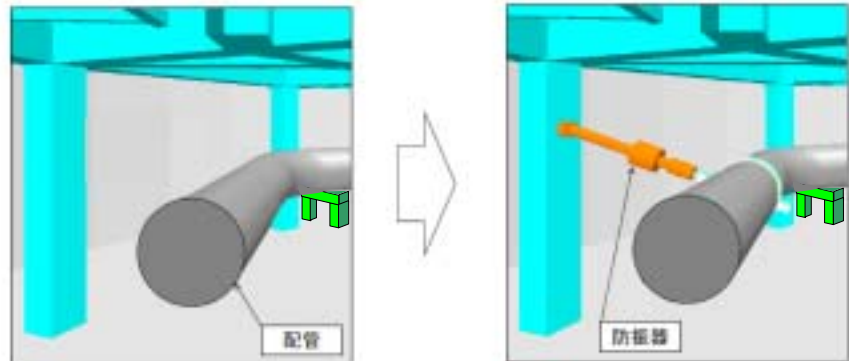
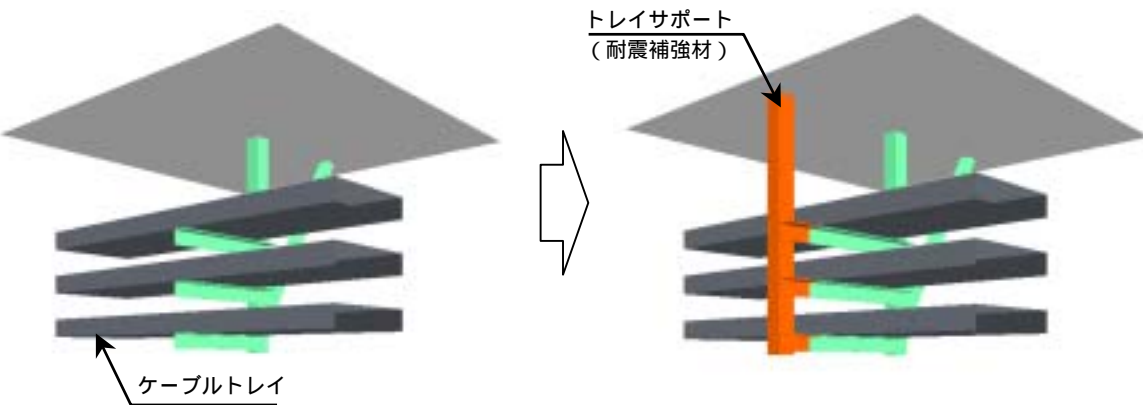
志賀原子力発電所 2号機で継続実施する耐震裕度向上工事と  
新潟県中越沖地震を踏まえた追加対策工事の概要

以 上

# 志賀原子力発電所2号機で継続実施する耐震裕度向上工事と新潟県中越沖地震を踏まえた追加対策工事の概要

## 1. 耐震裕度向上工事の継続について

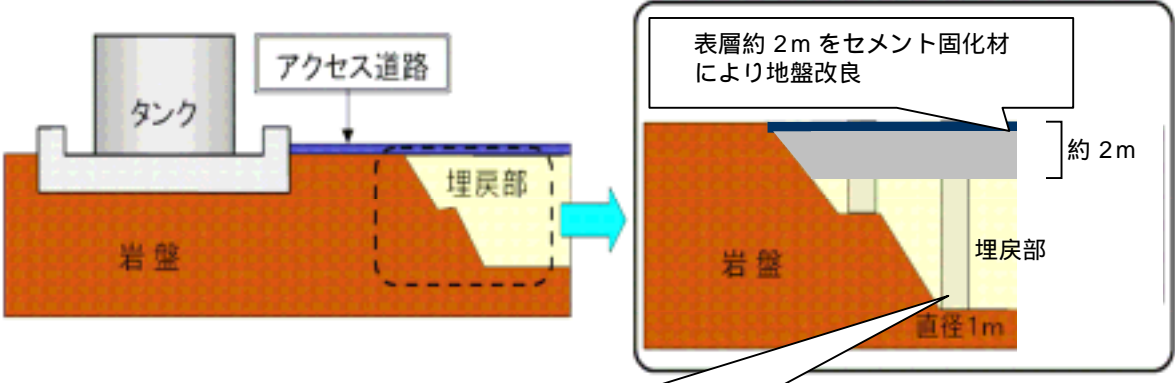
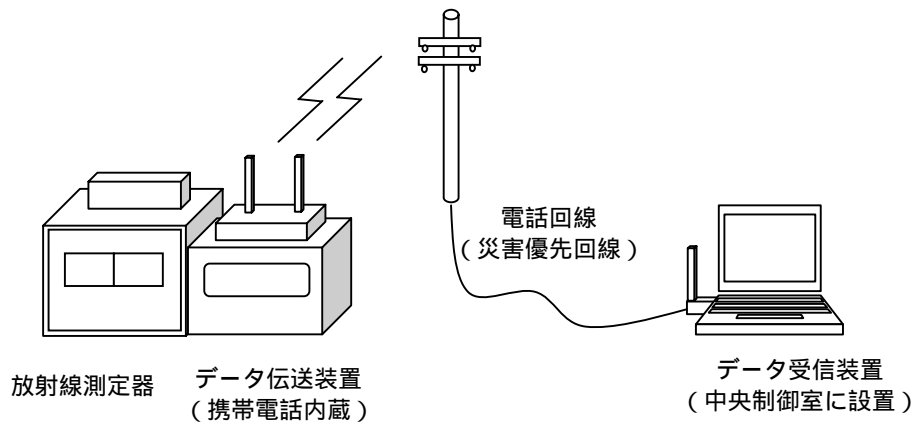
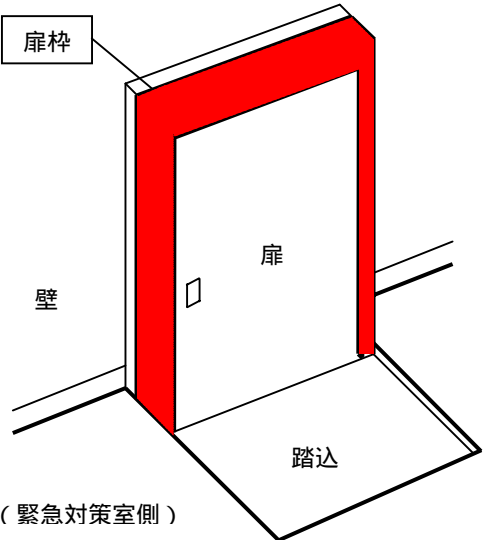
能登半島地震や新潟県中越沖地震の発生を踏まえ、一層の安心の観点から、裕度向上を目指し、工事を継続していきます。

	工事内容
今後継続	<p>配管サポート改造工事（例：耐震補強材の追加）</p>  <p>配管サポート (耐震補強材)</p> <p>配管サポート (耐震補強材)</p> <p>配管サポート (耐震補強材)</p>
	<p>配管サポート改造工事（例：防振器の追加）</p>  <p>配管</p> <p>防振器</p>
	<p>電路類サポート改造工事（例：耐震補強材の追加）</p>  <p>トレイサポート (耐震補強材)</p> <p>ケーブルトレイ</p>

## 2. 新潟県中越沖地震を踏まえた追加対策

新潟県中越沖地震による東京電力㈱柏崎刈羽原子力発電所の状況に照らして、志賀原子力発電所において必要な対策を実施していますが、今回、次の対策を実施してまいります。

主な対策は以下の通りです。

項目	対策内容
消火対象物への アクセス道路の地盤改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火対象物（重油タンク、軽油タンク、変圧器）へのアクセス道路（埋戻部）の地盤改良を実施。</li> </ul>  <p>表層約 2m をセメント固化材により地盤改良</p> <p>約 2m</p> <p>埋戻部</p> <p>直径 1m</p> <p>岩盤</p> <p>アクセス道路</p> <p>タンク</p> <p>埋戻部</p> <p>岩盤</p> <p>埋戻部</p> <p>埋戻部は表層改良の下に、直径 1m のセメント固化材を混合した柱状改良</p>
モニタリングポストの 代替測定機器の増設	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリングポストで測定ができない場合でも、放射線線量率を監視できるようにするため、代替測定機器（可搬型モニタリングポスト）を増設する。</li> </ul>  <p>放射線測定器</p> <p>データ伝送装置 (携帯電話内蔵)</p> <p>電話回線 (災害優先回線)</p> <p>データ受信装置 (中央制御室に設置)</p>
緊急時対策室入口扉の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下から緊急時対策室の入室ルートを確認するため、扉枠を強化する。</li> </ul>  <p>扉枠</p> <p>壁</p> <p>扉</p> <p>踏込</p> <p>(緊急対策室側)</p>